

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第168回

令和4年4～6月期 実績

令和4年7～9月期 予測

令和4年6月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨 この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
- 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象 (対象地区) 県内14商工会
祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、
三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、
三次広域、備北
(対象企業) 231社
製造業45 建設業48 小売業72 サービス業66
3. 調査方法 経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間 令和4年4月～6月期実績、及び令和4年7月～9月期見通し
5. 調査時点 令和4年6月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。

DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運

DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運

例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、
 $DI=50-20=30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

■ (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

■ 中国財務局 (中国地方の経済情勢)

<http://chugoku.mof.go.jp/chousatoukei/keichou/keizajyousei/jouseishinchaku.html>

■ 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/1244079054510.html>

産業全体の概況

1.ポイント

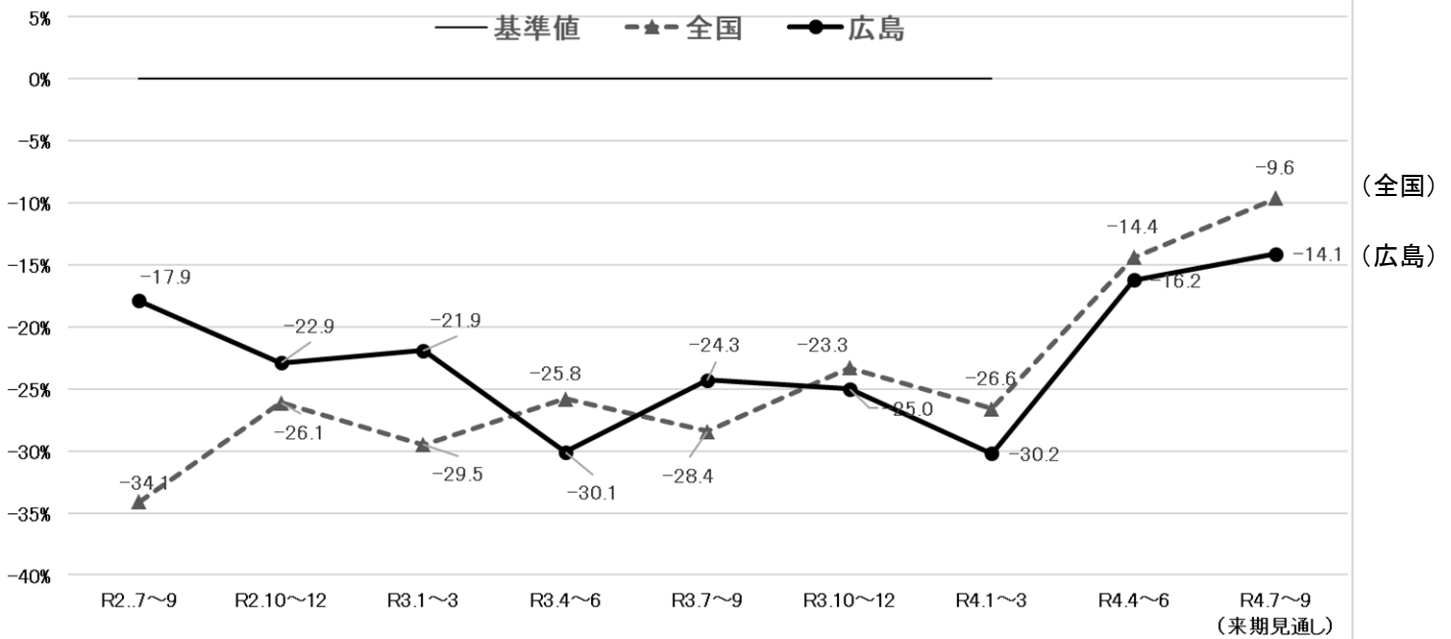
※(独)中小企業基盤整備機構「第168回中小企業景況調査(2022年4-6月期)のポイント」より

- ・中小企業の業況判断DIは、2期ぶりに上昇
- ・宿泊業の業況判断DI及び売上額DIは、過去最大の上げ幅
- ・原材料・商品仕入単価DIは、製造業、建設業、卸売業で過去最高値を記録

2.広島県と全国(全産業)

※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

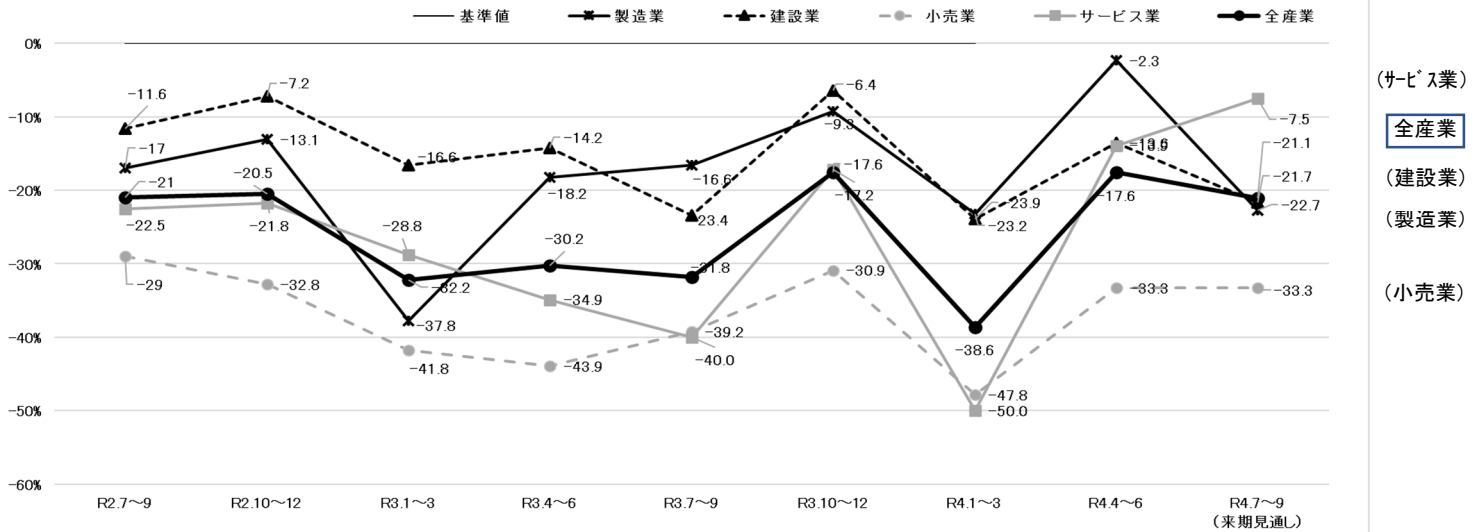
広島県と全国(全産業)業況DI推移 -前期比-



3.広島県(産業別)

※商工会地域のみ

広島県(産業別)業況DI推移 -前期比-



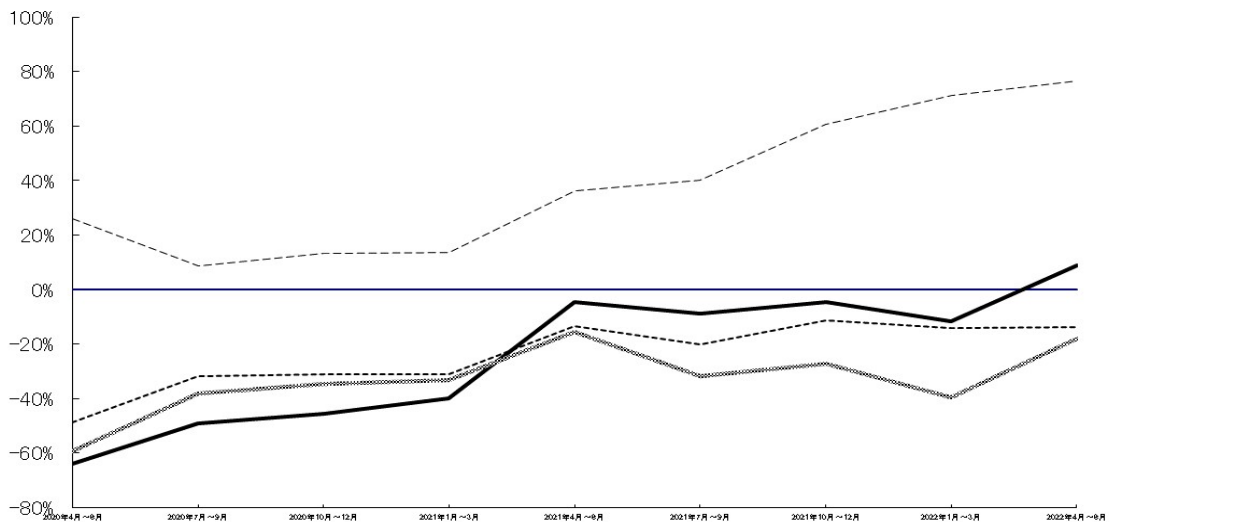
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		(来期見通し)	
	(前期) R4.1~3	(今期) R4.4~6	前期との比較	今期との比較
売上額	-11.6	8.9	↗	↘
原材料仕入単価	71.4	76.7	↗	↘
採算	-39.6	-18.2	↗	↗
資金繰り	-14.2	-13.7	→	↘

広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D.1



..... 企業のコメント

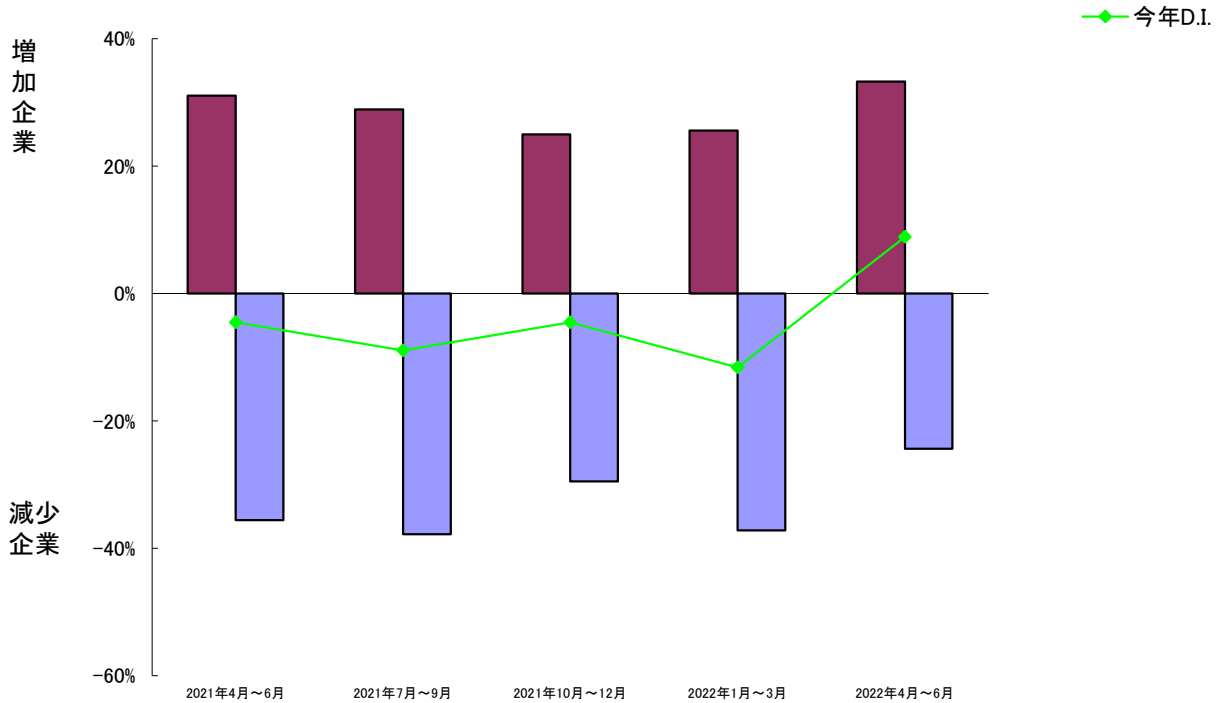
- ・ 原材料、燃料費等の価格上昇分を製品価格への上乗せにどの程度するのか苦慮している。
- ・ 当社の売上の70%以上を占める客先について半導体不足やロックダウン等の世情の変化により受注量が大きく変化する。それは突然の連絡になる時もある。
- ・ 今期はコロナの影響があり、生産調整され売上げが落ちた。今後徐々に改善されると思われるが、電動化のこともあり、先は不透明感が強い。そのような中、待っていても仕方ないので、自社製品をつくることとした。6月から生産予定である。
- ・ 1月から3月までの蔓延防止等重点措置が解除になり、人の流れが少しづつ戻ってきたことと原材料の値上げ前に駆け込みでの注文があり、前年同期よりは仕事はあるが、その反動が現在少し感じられる。
- ・ コロナの規制が少なく、人手が多いので売り上げもだいぶ戻ってきた。
- ・ 新型コロナウイルスの感染が続いている中で委託加工は、尚、回復は難しく長引く傾向で先は見えません。又、和紙系は円安原料高になり厳しい状況で営業の為、出張に行けず頭打ち状態で何とか出張に行き営業努力する予定。

製造業（商工会地域）

2.売上額（加工額） -前年同期比-

広島県 製造業

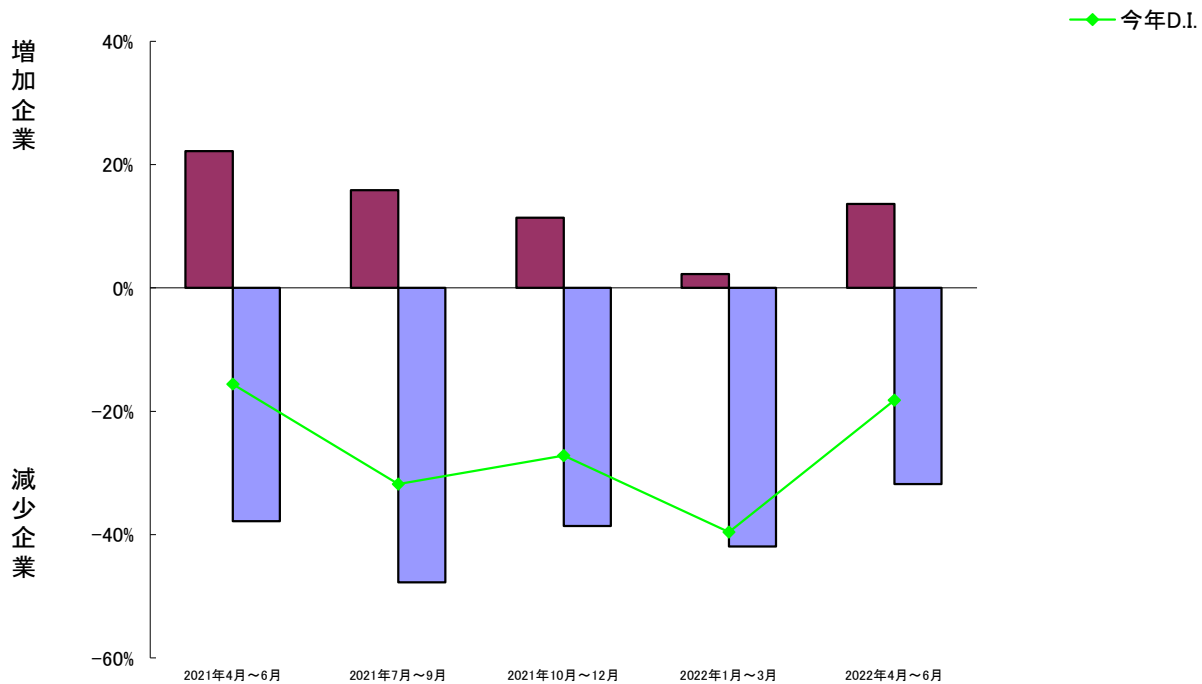
売上額の状況 -前年同期比-



3.採算（経常利益） -前年同期比-

広島県 製造業

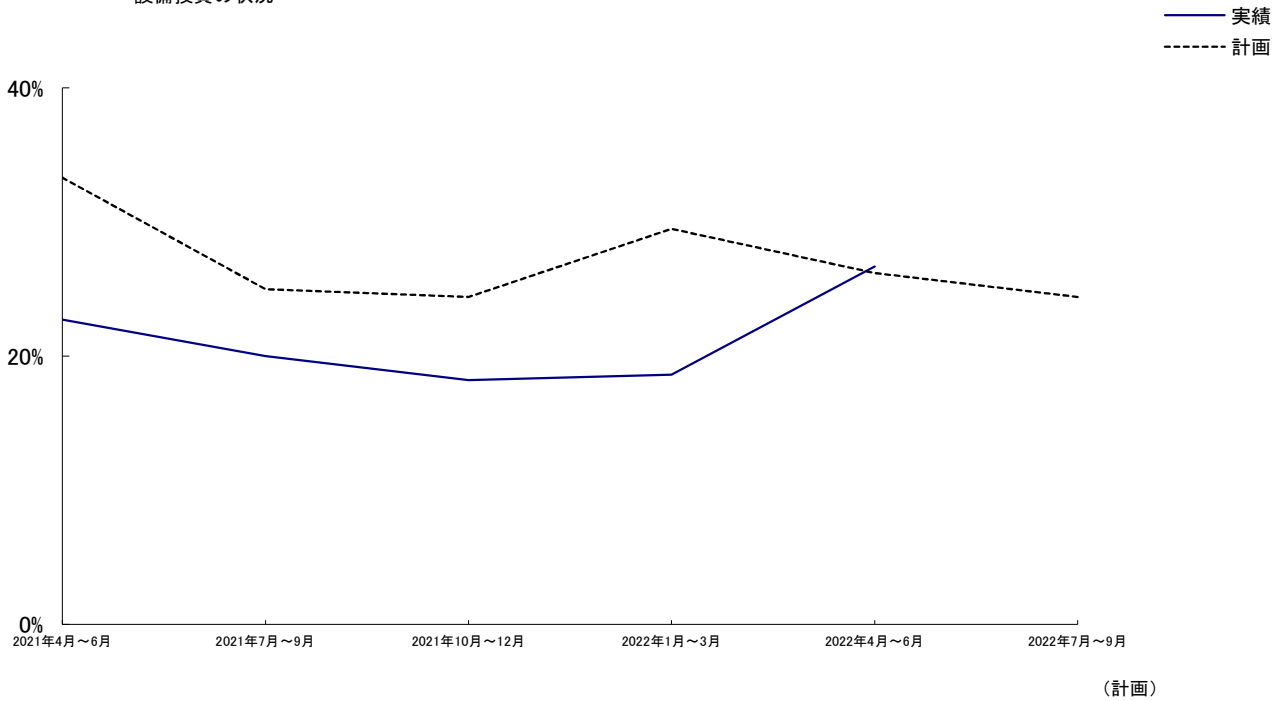
採算の状況 -前年同期比-



4.設備投資の状況

広島県 製造業

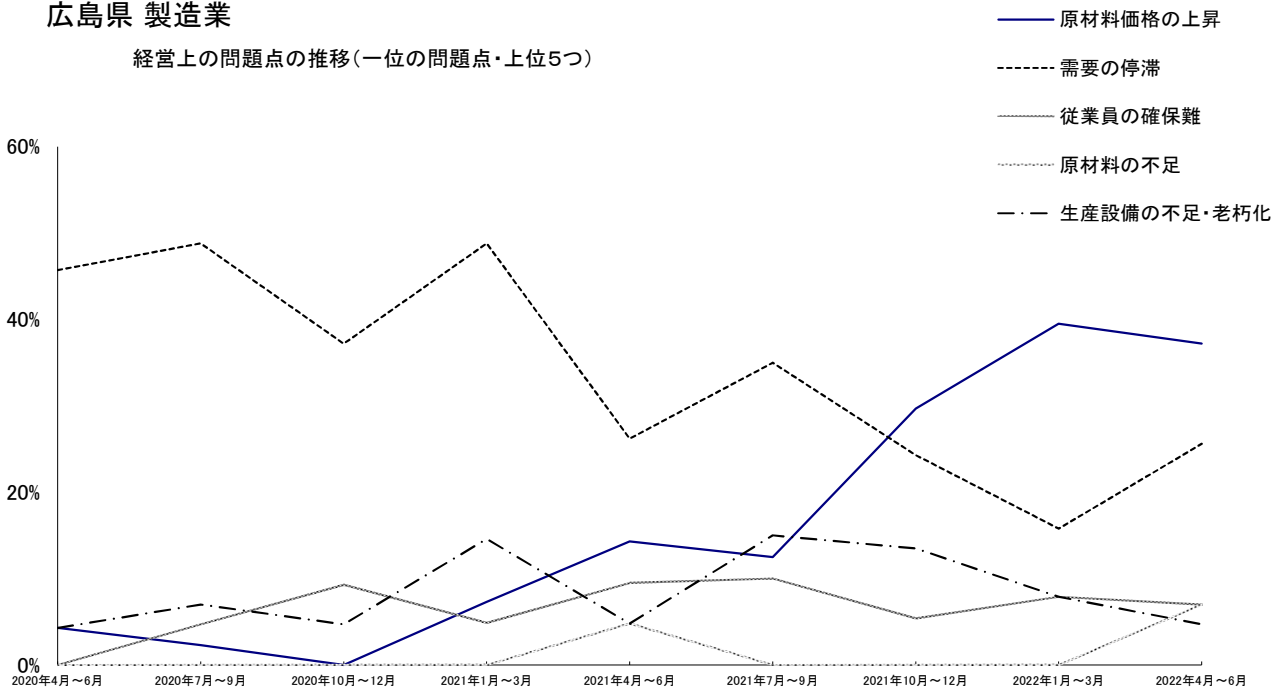
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 製造業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



建設業（商工会地域）

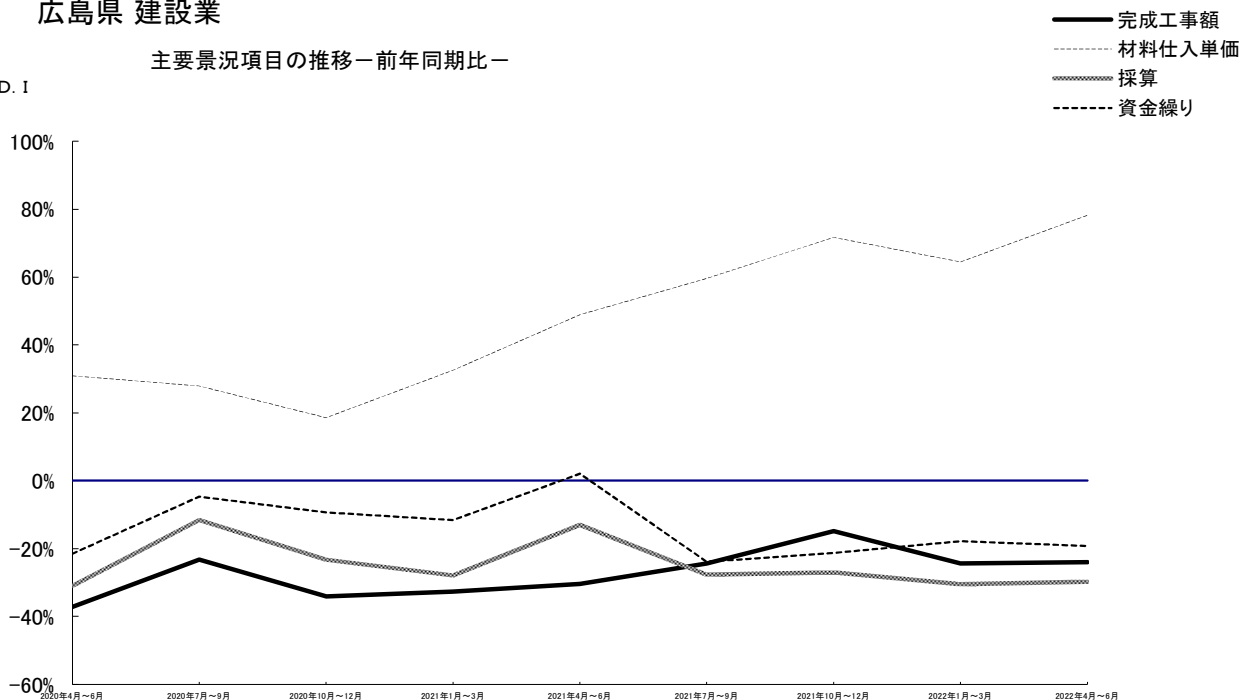
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R4.1～3	R4.4～6	前期との比較	R4.7～9	今期との比較	
売上額 （完成工事額）	-24.4	-24.0	→	-32.6	↓	
材料仕入単価	64.5	78.2	↗	73.9	↓	
採算	-30.5	-29.7	→	-29.8	→	
資金繰り	-17.8	-19.2	→	-25.5	↓	

広島県 建設業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D. I



..... 企業のコメント

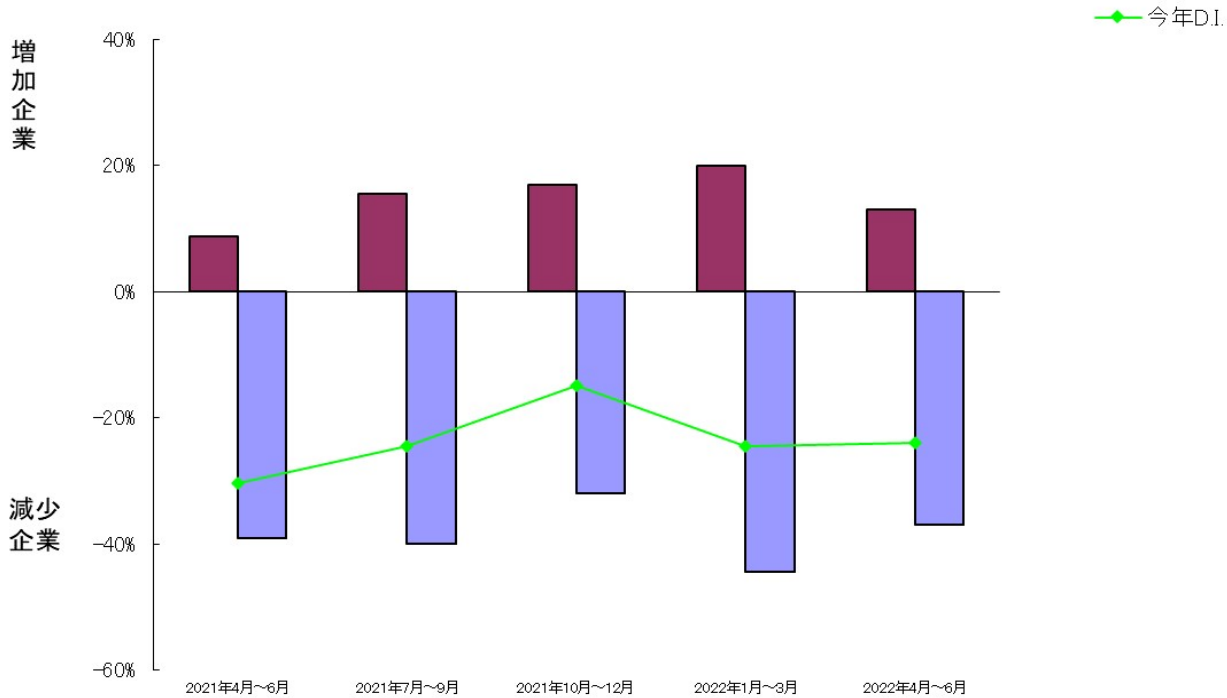
- ・ 前年度後半の契約が順調で、今年度は増収増益の見込み。
材料価格上昇によっては、収益の伸びは低いかもしれない。
- ・ 仕事が何となく少ない。単価が低くて工事が悪化しそこまで忙しくない。
- ・ 引き続き木材等価格が高騰し、入荷も悪いのでこの先が不安である。
- ・ 当社の工事内容は修理が主で、景気に左右されないの、業況は開業時から変わっていない。
- ・ 円高による鋼材価格の上昇で利益の減少が長期間続くのではないかと。
- ・ コロナ禍の影響で商品が入荷してこない為、売上の見通しが立たない。顧客のライフラインを保持する為に手持ち道具で仮設対応をしている。しかしその費用は誰かが負担しなければならず企業努力のみでは限界がある。

建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

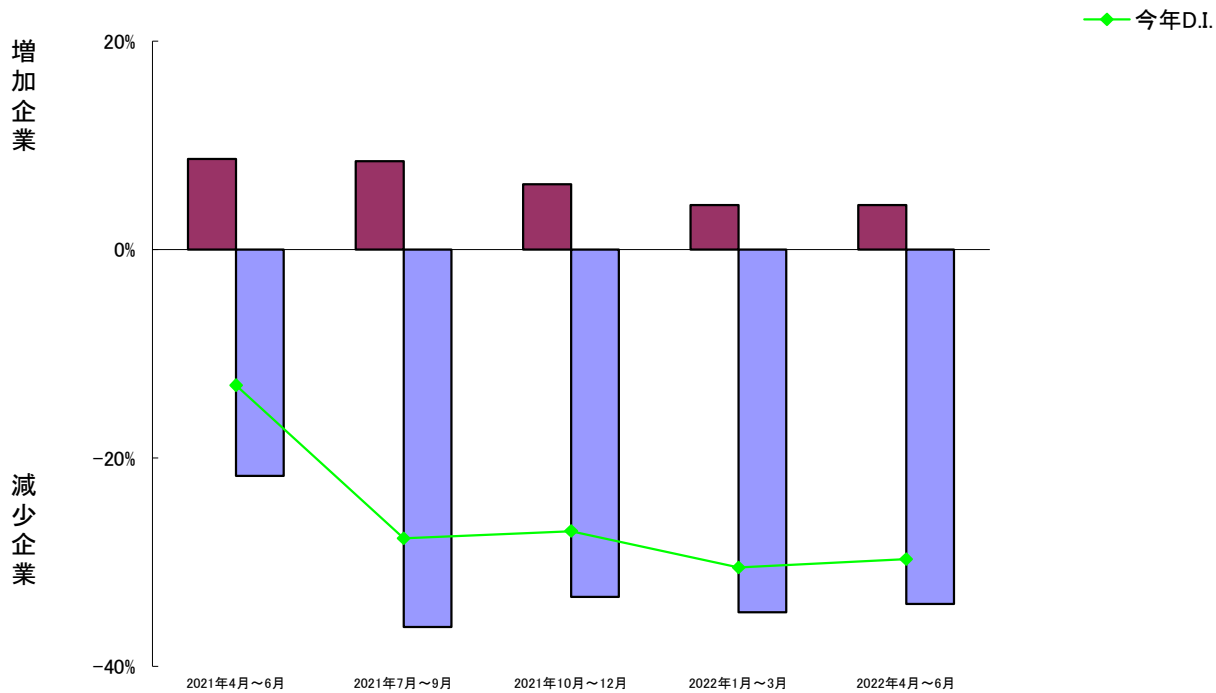
完成工事額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 建設業

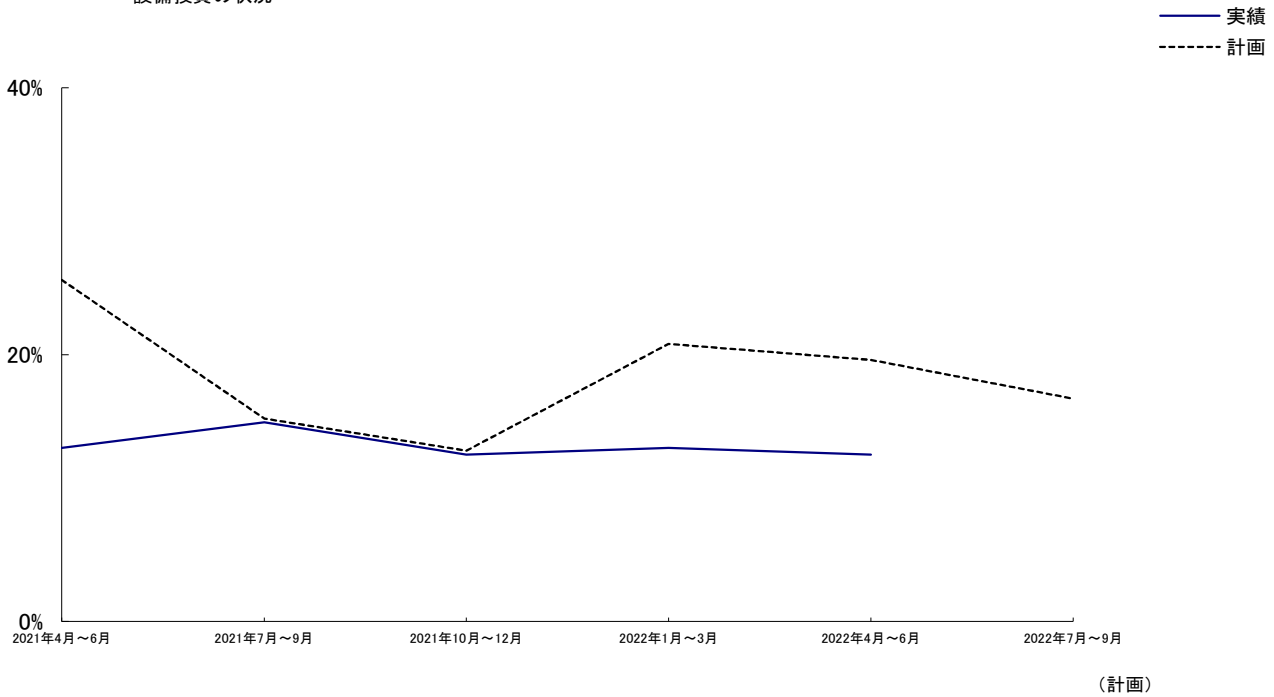
採算の状況-前年同期比-



4.設備投資の状況

広島県 建設業

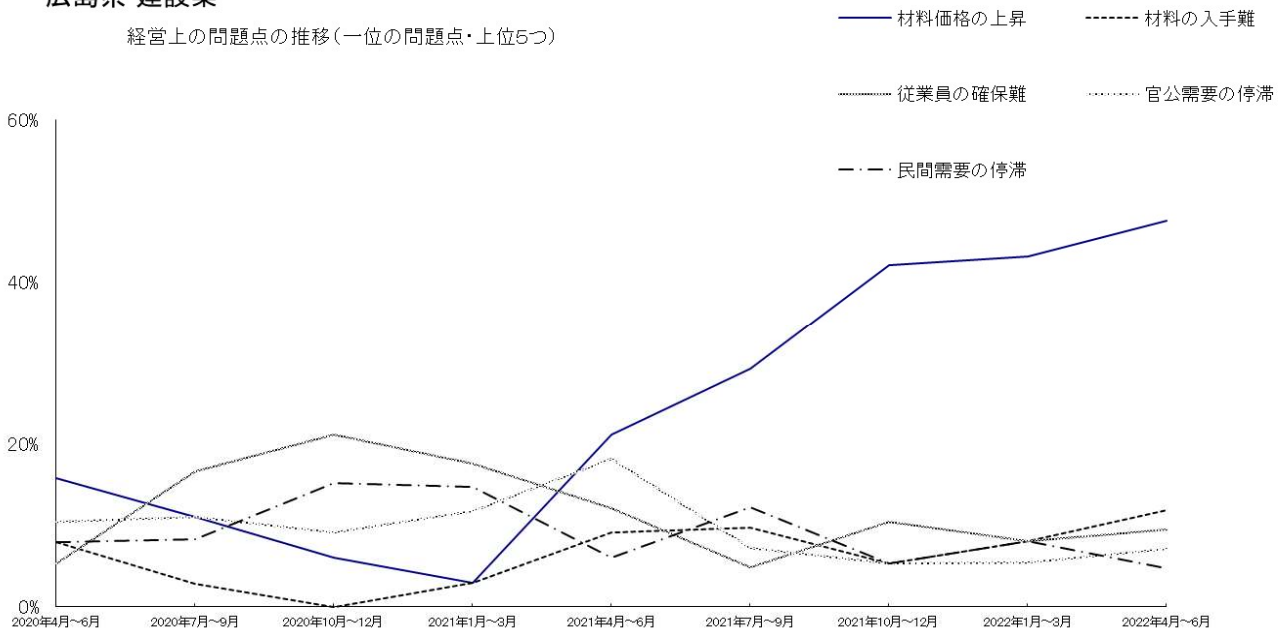
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 建設業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



小売業（商工会地域）

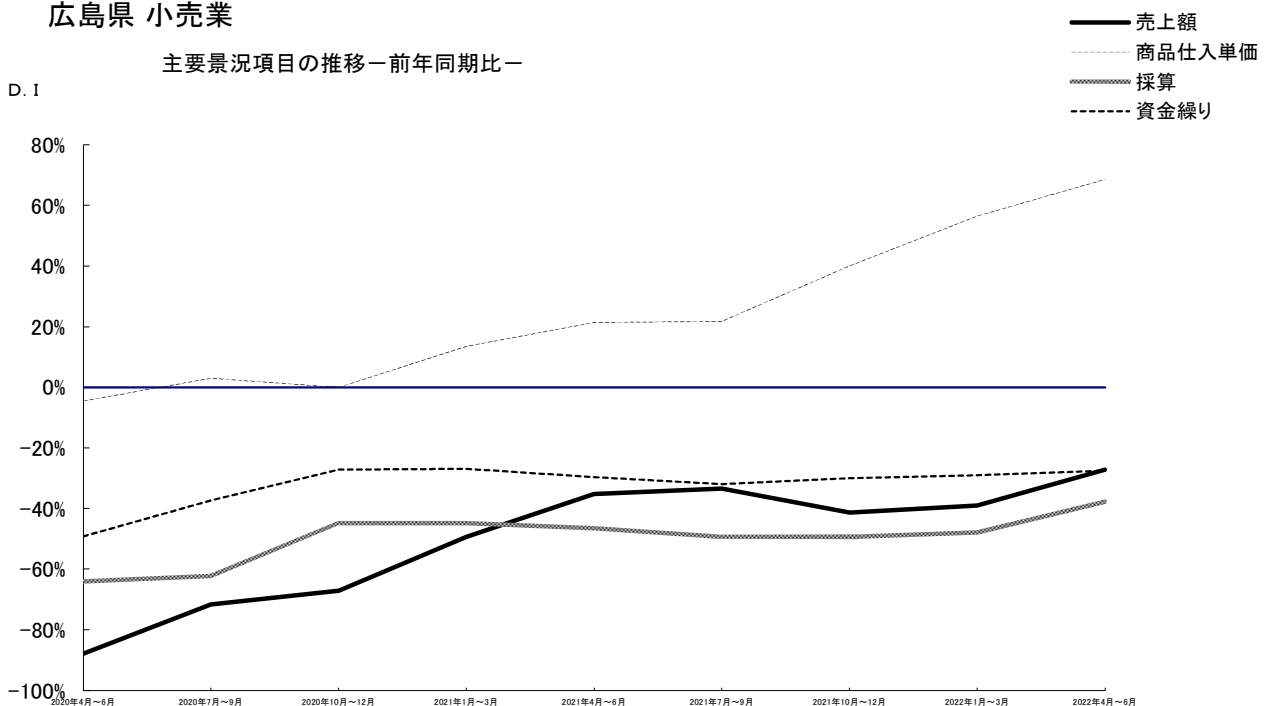
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		
	R4.1～3	R4.4～6	前期との比較	（来期見通し） R4.7～9	今期との比較
売上額	-39.1	-27.2	↗	-27.5	→
商品仕入単価	56.5	68.6	↗	55.9	↘
採算	-47.9	-37.7	↗	-32.4	↗
資金繰り	-29.0	-27.5	→	-22.1	↗

広島県 小売業

主要景況項目の推移-前年同期比-

D. I



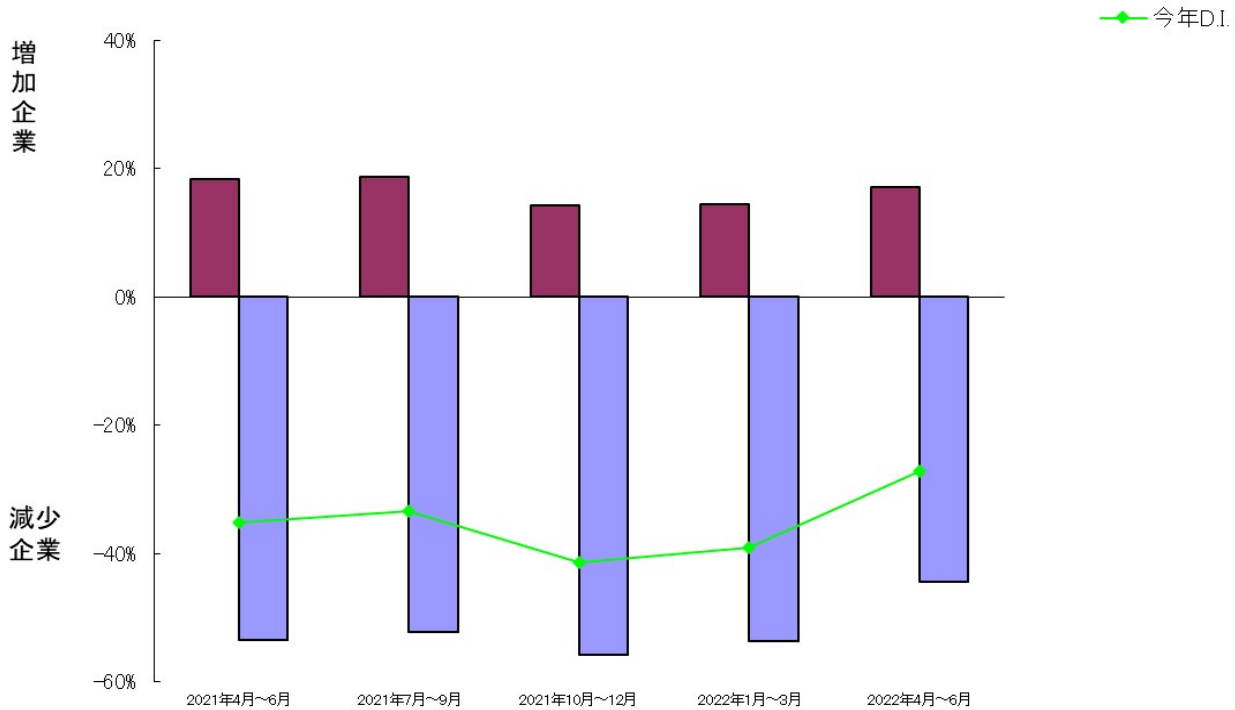
- ・ 原油価格の高止まり、為替の円安により仕入れ価格も高値で推移している為、利益が減っている。半導体不足により、住設機器の納期が不確定であり工事の予定が組めない。
- ・ 円安やエネルギー資源の高騰による値上げが価格にも重くのしかかり仕入れの上昇へととなっている。消費離れにもつながると思うので6月以降、業況は厳しくなると危惧している。
- ・ 今期4月以来コロナ対応規制緩和の影響で客数、販売額等は若干増加。今後もコロナ状況が落ち着いてくると昨年対比の景況は次第に好転すると思う。仕入れ商品の価格高騰が懸念されてきた。
- ・ 4月、5月は昨年比で、上昇傾向にあったが、1月から3月の売上減少が尾を引いて中々V字回復には至っていない。取引先の売掛金回収も厳しく金欠状態が続いている。先が見えず不安である。
- ・ 現段階では、受注順調で業況変動は不変。今後納期の遅れによっては、状況が悪化する恐れを感じている。
- ・ 仕入れ価格が上昇しても、販売価格に反映しにくい。人口の減少、消費者の買い控えなど自社の努力だけでは解決できない。
- ・ 最近、他地域との価格格差が大きく、お客さんの他地域への流出が起き、客数が減収傾向にある。従業員を補充して経営者の負担軽減を図りたいが、暇な時間がある為、当分断念。採算がとれ身体にも優しい経営が出来ないものだろうか。

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

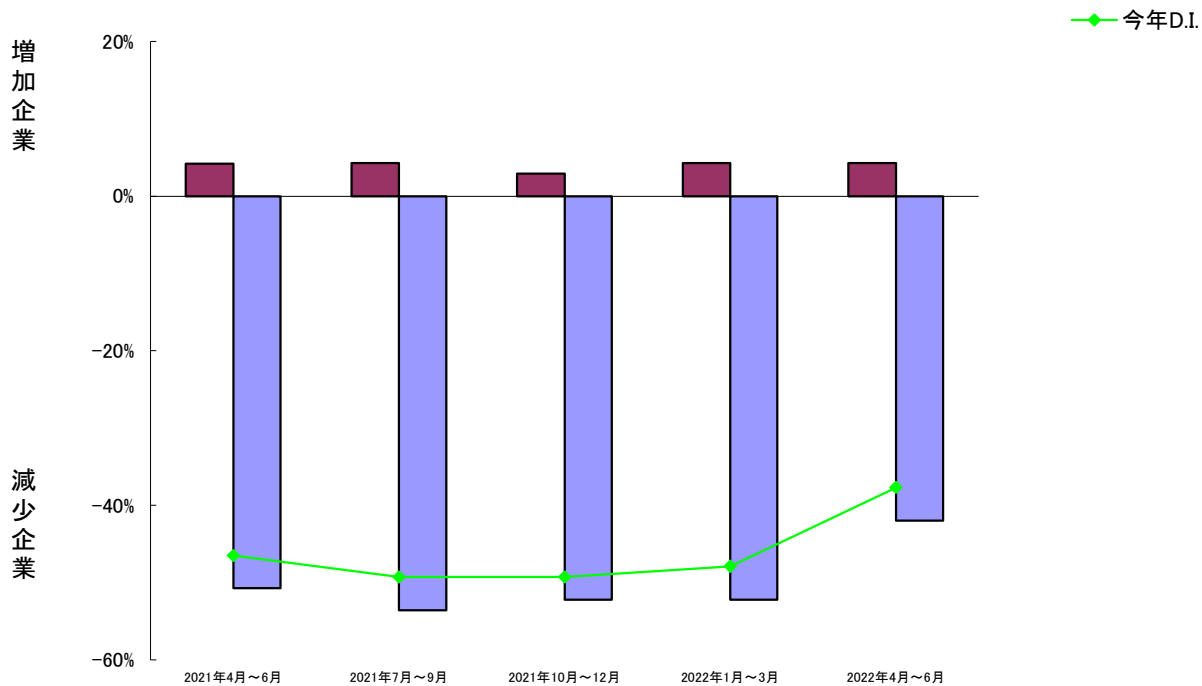
売上額の状況-前年同期比-



3.採算（経常利益） -前年同期比-

広島県 小売業

採算の状況-前年同期比-

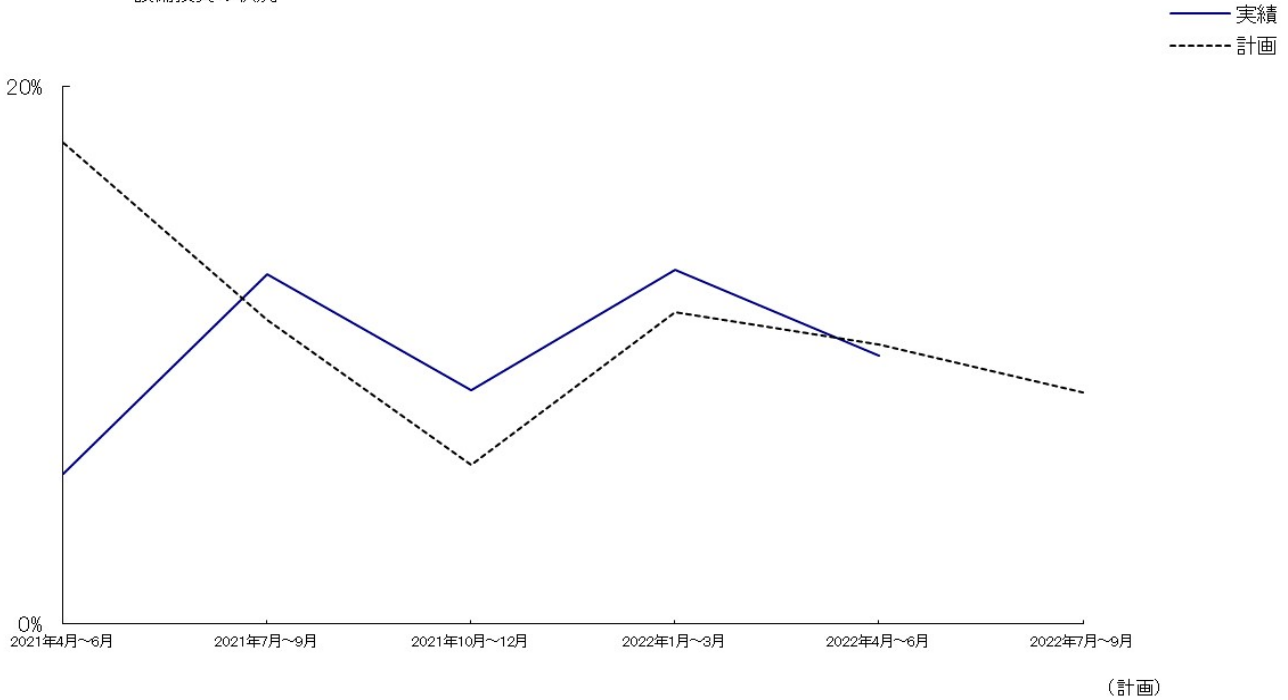


小売業（商工会地域）

4.設備投資の状況

広島県 小売業

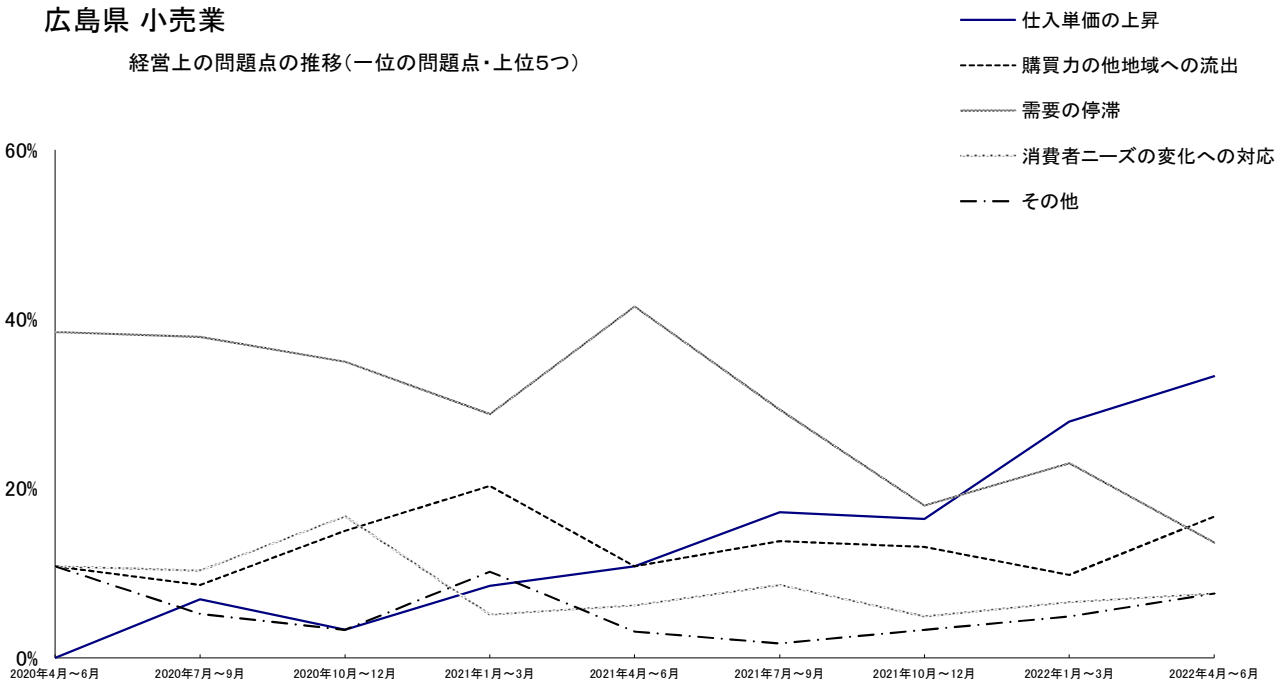
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 小売業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



サービス業（商工会地域）

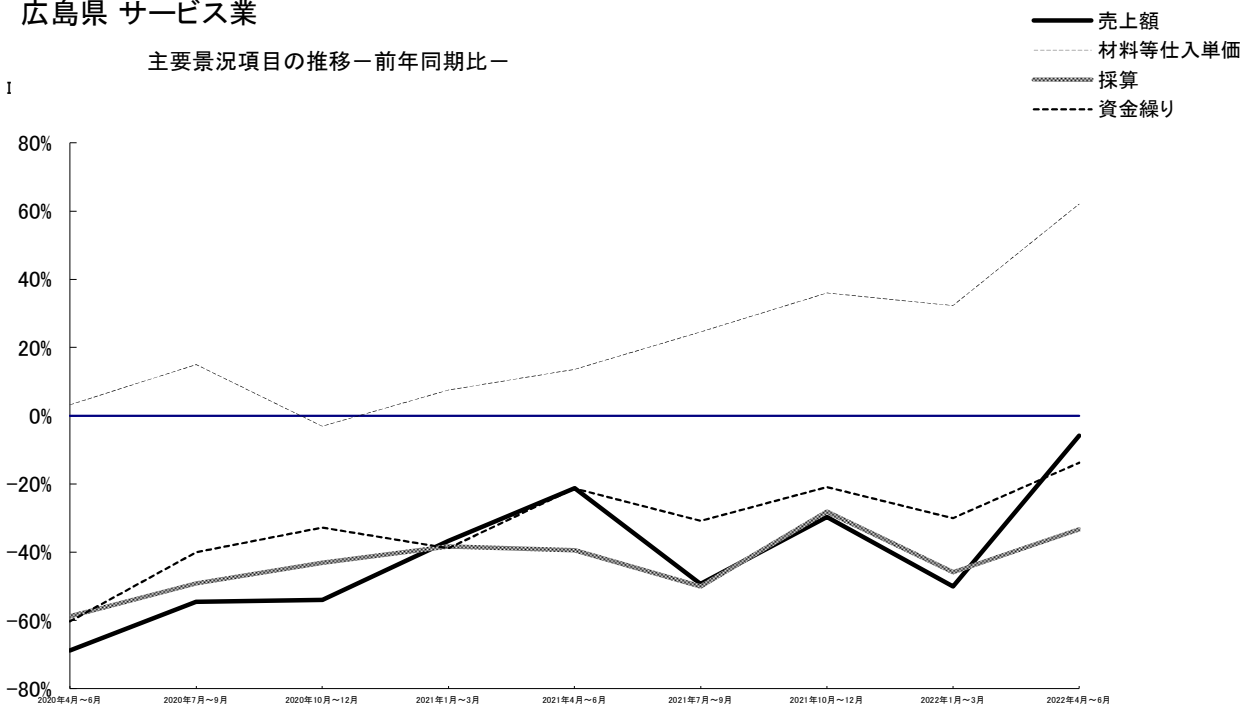
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI 主要項目	サービス業 DI		(来期見通し)	
	(前期) R4.1~3	(今期) R4.4~6	前期との比較	今期との比較
売上額	-50.0	-5.9	↗	→
材料等仕入単価	32.3	62.1	↗	↗
採算	-45.9	-33.3	↗	→
資金繰り	-30.0	-13.8	↗	→

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D.1



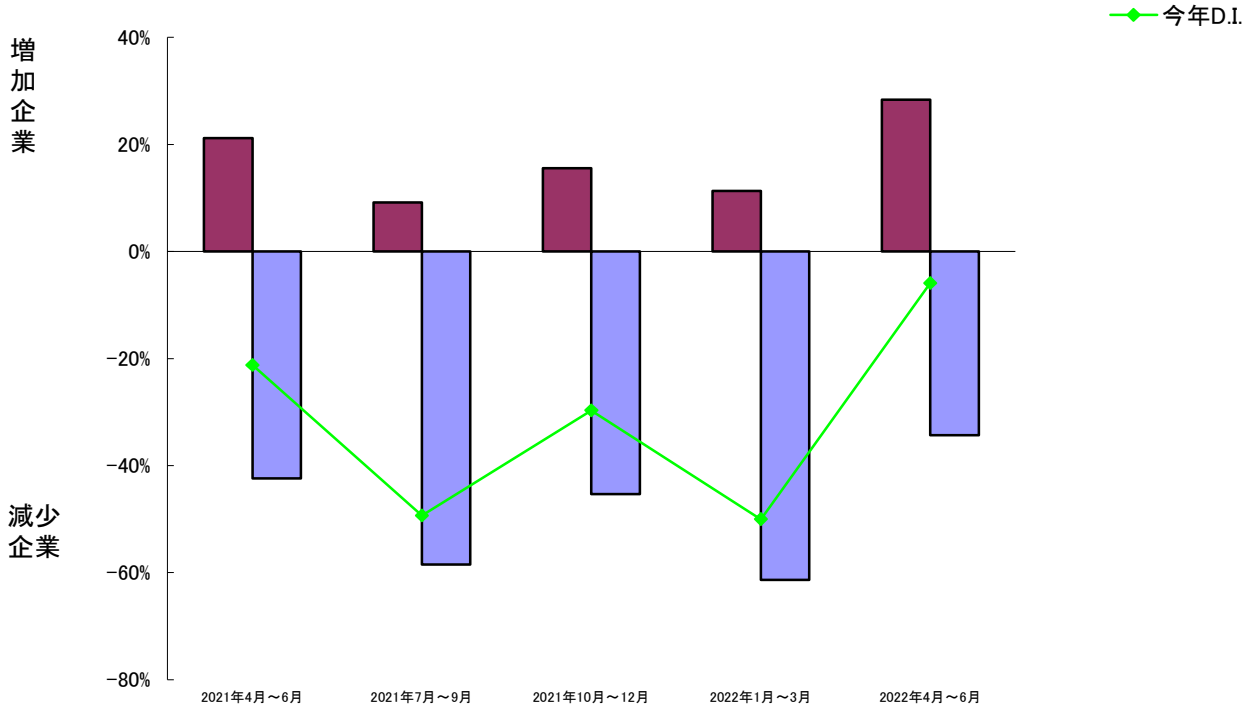
- ・ 材料等仕入れ単価の上昇、金利負担の増加による経営環境の悪化。新車の生産遅れによる売上の低下。
- ・ コロナが落ち着きを見せ始めている状況にあわせて、合宿等の団体利用も増え始めている。従業員の確保が課題。
- ・ 少しずつ回復しているように見えるものの、実際は学校関係があるのみで一般の貸切バスは予約がない。今年度の前半はこの状況が続くのかと思われる。
- ・ 今期はGWもフル稼働し緊急事態宣言で営業できなかった昨年と比べ売上は大幅に増加。原材料価格、資材価格の高騰を受け商品の値上げ等を実施。今後の状況の注視が必要。
- ・ 本業利益は前年比プラスだが、昨年はGOTOキャンセル補填があり資金繰り、最終利益に貢献した。今年度は、原油価格が高騰、風呂を沸かすのに1日4万円の燃料費がかかる等、水道光熱費が高騰している。
- ・ コロナ禍で一般顧客は去年より少ないが、年度初めは公共売上が8割を占めるので、例年通りの業況となる。

サービス業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

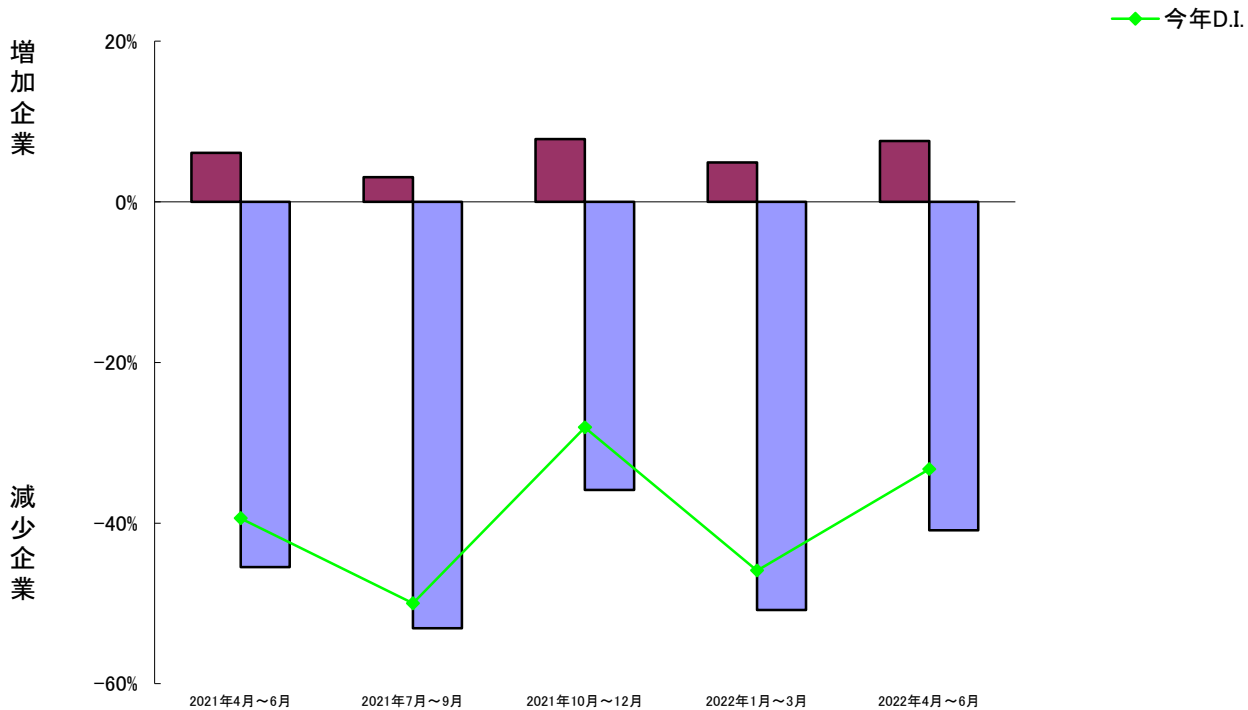
広島県 サービス業

売上額の状況-前年同期比-



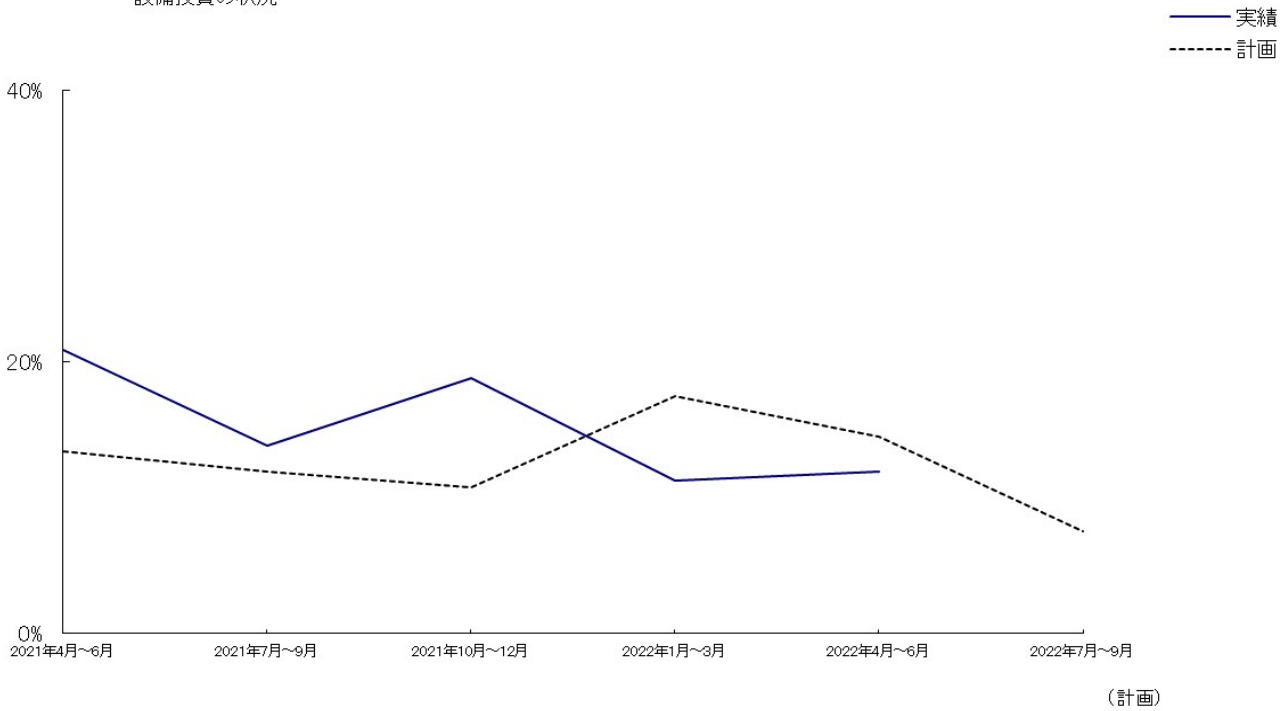
広島県 サービス業

採算の状況-前年同期比-



4.設備投資の状況

広島県 サービス業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 サービス業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）

